

□議員名：河野朋子

1 市長の政治姿勢について

論点	市長にはぜひ民間発想を生かしてほしいと思うが、業務において数値目標を設定する考えはあるのか。
回答	担当部署と現状認識をした上で必要に応じて、私がこれは大切だという判断をした場合には、当然そういうことも考えられると認識している。

論点	就任後、職員とのランチミーティングを行っているが、職員のモチベーションを上げるため、次の手はあるのか。
回答	次にどんな手法ということは、今すぐに言うことはできないが、長い目で見てやるべき最優先というものは、物事の目的を共有するということが全ての根本であると考えている。

論点	自治基本条例には「市長は具体的な政策公約を公表し、達成状況を公表するものとします」とあるが市長の認識はどうか。
回答	今回の市長選挙に当たって、多くの人から具体策がないと非難があった。未熟な考えの中での具体策よりは、まちの方向性だけを示したが、具体的な目標数値が十分ではなかったということに当たるかもしれない。

論点	次の第二次総合計画は市長の任期を考慮して12年となったが、市長の目指すまちづくりは12年先を見通すのか、どういう思いで市長になられたのか。
回答	まちづくりという視点において4年先だけでは十分ではないという中で、今回の総合計画は12年先なので、そこの視野をしっかりと持ちながら、4年ごとの私の務めは責任を持って務めていきたい。

論点	前市長は広報や対話の日など、市民への情報提供を積極的に行っていた。それに比べると少し後退した印象だがどうか。
----	--

回答	広報、広聴というものの役割は大変大切であるという認識は持っている。今まで全部市長がやっていたから、私もやるということにならないケースもあり得る。ケースバイケースである。
----	--

## 2 今後の財政見通しについて

論点	現在の本市の財政状況について、市長の分析、認識はどうか。
回答	比較論として、合併当初に比べれば上向きになっているが、今後の歳出の増、歳出におけるいろいろな課題ということも明らかになっているので、楽観視をするということはない。

論点	今後の財政運営における重点項目は何か。
回答	持続可能な財政運営基盤の確保、すなわち中長期的な財政収支の均衡を図るために、行財政改革をさらに推し進めて、行政の効率化により経常の経費を抑制することで、厳しい状況下において収支の均衡を図れる体制を早期に整えていきたい。

論点	本市の財政見通しから、財政調整基金はどの程度必要か。
回答	小野田・楠の企業団地の用地が売れば、市が40%ほど補助をしなければならぬので、財政調整基金として十数億必要となる。それを踏まえて30億円以上はないと非常に困ると試算している。

論点	公共施設の管理計画は、この3月につくられたが、個別の施設の計画を早くつくるべきではないか。
回答	個別計画については、原課でよくたたいて、それを原課だけの判断ではなく、全体で調整するということも必要なので、なるべく早くつくるような指示をしようと考えている。